

待ち遠しい雪国の春



4月1日、湯沢に行ったが、高く積もった雪はわずかばかり消え残っているだけで、堤に萌えるバッケ、ギシギシを摘み歩き、カコベという器に入れてゆく女が群れていた。

17

羽後町...ため池が多い理由



春の雪解け水は冷たく、度々冷害をもたらす。夏の渇水期には、水が枯れてしまう。だから、上流に土手を築き、温水と貯水を兼ねた「ため池」を作った。羽後町には、こうした農業用ため池が非常に多く70ヶ所を超える。

18

春一番に咲く縁起の良い花



4月14日、岩崎という村に行こうと、杉沢とかいう村までくると、村中そここに垣根をめぐるして黄色の花が咲いていた。この花は…まだ雪がかかっている垣根に匂うマンサクという花である。この里のことわざに「マンサクは雪の中より急げども、花は咲くとも実はならぬ」とうたう。→マンサクは、豊年満作にも通じることから「田植え歌」として歌われているほど、縁起の良い花。

19



赤滝神社

絵図：赤滝

(秋田県立博物館蔵写本)

- ・岩崎地区「能恵姫伝説」…能恵姫が地域を水害・旱魃から護るために龍神になって、皆瀬川を遡り赤滝に棲むと伝えられている。
- ・農家にとって、水不足は死活問題
- ・赤滝神社…「雨乞いの神」として知られ、根子村の絵馬(矢島か阿仁か)

絶滅種トキが群れで生息

絶滅種「トキ」…湿地、湿田を好み、ドジョウ、カエル、昆虫を捕食。佐渡島で人工繁殖、放鳥。

4月22日、昨夜から風雨が激しく、午前8時頃、雷が落ちるかと思われ、稲妻がひらめいて、キハダの木の梢にトキが集まっていたが、この響きに驚いて、むらむらと群がり騒いでいた。→絶滅種のトキが群れで生息していたことが分かる。

21



真澄絵図「カコベ」
大館市立栗盛記念図書館蔵写本

山菜の宝庫

5月10日、ある老人が山菜採りにいったみやげとって、ホシナ、サラシナショウマ、アイコ、コゴシ、シオデ、シドク、ワサビ…など、おたくしの聞き知らぬ山菜もたいへん多い。カコベもやぶれるほど採ってきた。→山菜の種類と量の多さに驚いている。



「ファースト風土」…近代化・地方の郊外化、画一化
 「スロー風土」…ファースト風土の対極、文化的景観
 築350年、鈴木家住宅(羽後町飯沢)

森の手仕事・名人を伝える

伝統文化を次代へ繋ぐ
茅葺き職人・親方は九十歳

スロー風土を支える森の名手・名人

茅葺き職人・村上賢助さん(90)、平成28年度認定

村上 賢助氏

茅葺き職人
村上 賢助氏

「日本の伝統文化を次代へ繋ぐ」をテーマに、伝統文化を次代へ繋ぐ。茅葺き職人・村上賢助さん(90)のインタビュー記事。記事内容は、茅葺き職人の仕事、伝統文化の継承、そして「スロー風土」の重要性について述べている。



小野小町の里を訪ねて秋田美人を絶賛

5月22日、薄い藍色の布を厚くさして着た、たいそう清らかな女が老人に伴われて行くのは、小野の人である。ああ美しい女だと人々は見守っていた。小町姫のゆかりが残って、昔から今に至るまで、小野村には良い女が出てくるとは聞いていたが、これほどの美人は世にあるまいと、酔って泣き言を言った。(真澄32歳)→全国各地に伝説あるが、「小野のふるさと」のタイトルどおり、小野小町のふるさは、ここだと確証。



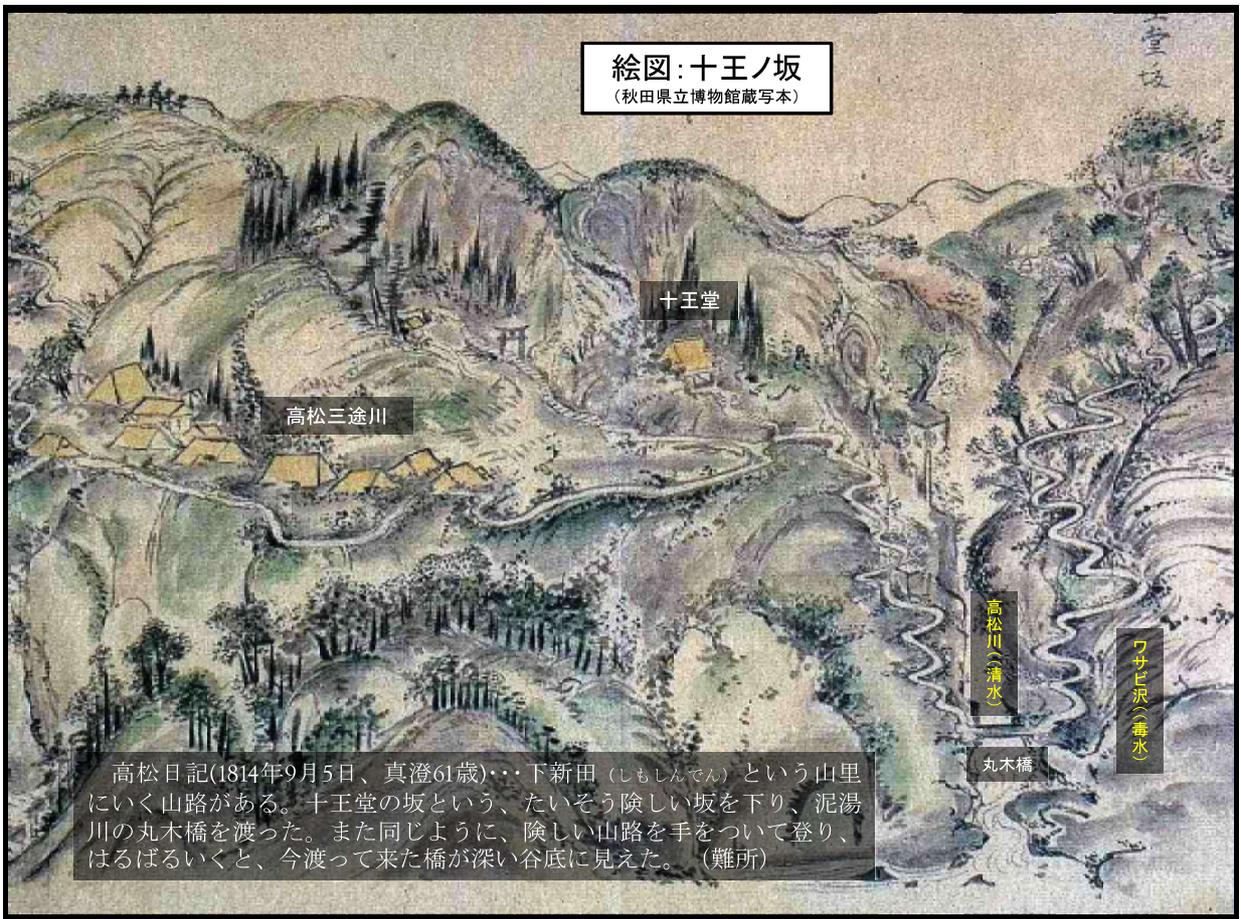
1785年5月22日、小野小町の里を訪ねようと湯沢をたつて…須川の流れの橋をわたる。岳から落ちてくる出湯の流れであろうか、「水の味がすっぱいので、どんな魚もすんでいない」と行く人が語った。

- 地元では、酸っぱい味の水だから、「シカ水」と呼び、「酢川→須川」の名が生まれた。



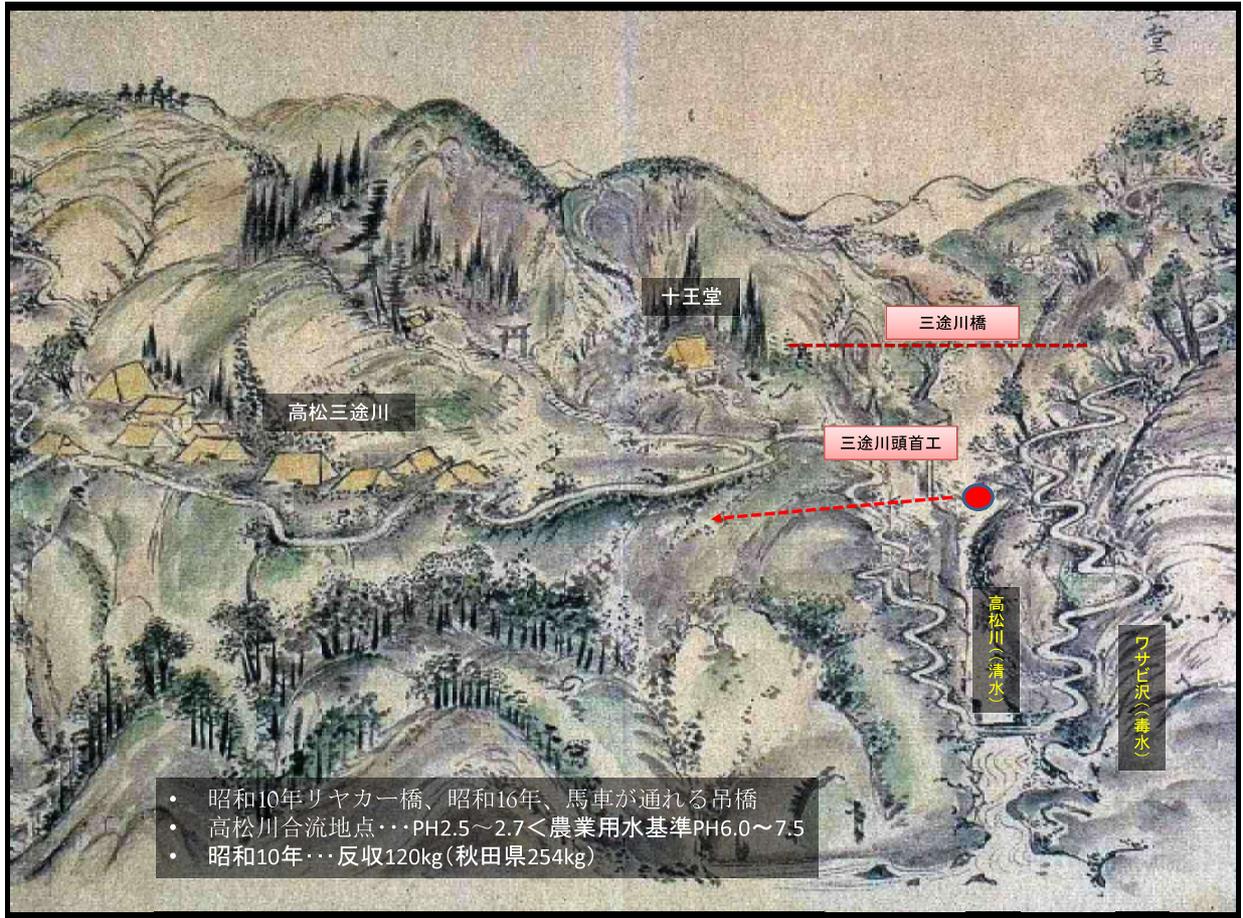
絵図: 河原毛山
(秋田県立博物館蔵写本)

- 高松日記…八万地獄谷とって、噴気孔が二つあって高く燃え上がっている。その火の色は白く、風に鳴り谷に響き渡って、恐ろしいほど冷ややかに見える。
- 毒水の源泉…PH1.4、94.5℃の強酸性水 (参考: 玉川毒水PH1.2)



絵図: 十王ノ坂
(秋田県立博物館蔵写本)

高松日記(1814年9月5日、真澄61歳)…下新田(しもしんでん)という山里にいく山路がある。十王堂の坂という、たいそう険しい坂を下り、泥湯川の丸木橋を渡った。また同じように、険しい山路を手をつけて登り、はるばるいくと、今渡って来た橋が深い谷底に見えた。(難所)



信仰の山・東鳥海山(777M)

月山

鳥海山

東鳥海山
九月九日(旧暦)は祭典あり、参拝する人たちは、今年の米でついた餅をひと揃え持参してまつる習わしである。物見坂から西に鳥海山、東南に月山が見える。この二つの山を一緒に見た人には幸せがあるという。
物見坂
鳥海山
月山

(秋田県立博物館蔵写本)

毎年、九月九日(旧暦)は祭典であり、参拝する人たちは、今年の米でついた餅をひと揃え持参してまつる習わしである。物見坂から西に鳥海山、東南に月山が見える。この二つの山を一緒に見た人には幸せがあるという。
→東鳥海山は、古来、五穀豊穰を祈る神として雄平仙三郡の信仰を集めていた。



絵図:トチノ湯
(秋田県立博物館蔵写本)

椽湯共三
甲那倉濁水
乙塚沼
丙東鳥海山
丁兜山
奥宮山
大嶋山
大保多羽山
鳥海山の連つた山
又五穀豊穰

失敗した毒水対策
昭和7年～昭和11年・・・高松川上流にあるツブ沼の堰堤を高くして貯水量を増やし、毒水の希釈水として使う対策工事。毒水は、土水路を設けて窪地に導き、地下浸透させる対策工事を実施。ツブ沼は、雪害で決壊、地下浸透も土水路が壊れて失敗に終わる。